

## 公開講演会

主催：人文社会・教育科学系附置 間主観的感性論研究推進センター

共催：人文学部 研究プロジェクト「ヒト認知系の総合的研究」、科学研究費補助金基盤研究(S)「野生の認知科学：こころの進化とその多様性の解明のための比較認知科学的アプローチ」

# 知を武具に生きるものたち

## ——イカとタコにみる心と社会

池田 讓 先生（琉球大学理学部教授）

日時：6月16日（金） 18：00～19：30

会場：総合教育研究棟 B棟・B351



近年、頭足類（イカやタコ）が驚くような知性と社会性を備えていることがわかってきました。今回の講演では、イカやタコの認知についての実験的研究で世界をリードする池田讓先生をお招きして、頭足類の心理学について語っていただきます。

池田讓（いけだ・ゆずる）先生のご紹介

1964年生まれ。北海道大学水産学部卒業。同大学大学院水産学研究科博士課程修了。博士（水産学）。スタンフォード大学、京都大学、理化学研究所を経て、現在、琉球大学理学部海洋自然科学科生物系教授。専門は頭足類の行動と自然史。おもな著書に『イカの心を探る——知の世界に生きる海の霊長類』（NHK ブックス）。

問合せ先：鈴木光太郎（ksuzuki@human.niigata-u.ac.jp）